

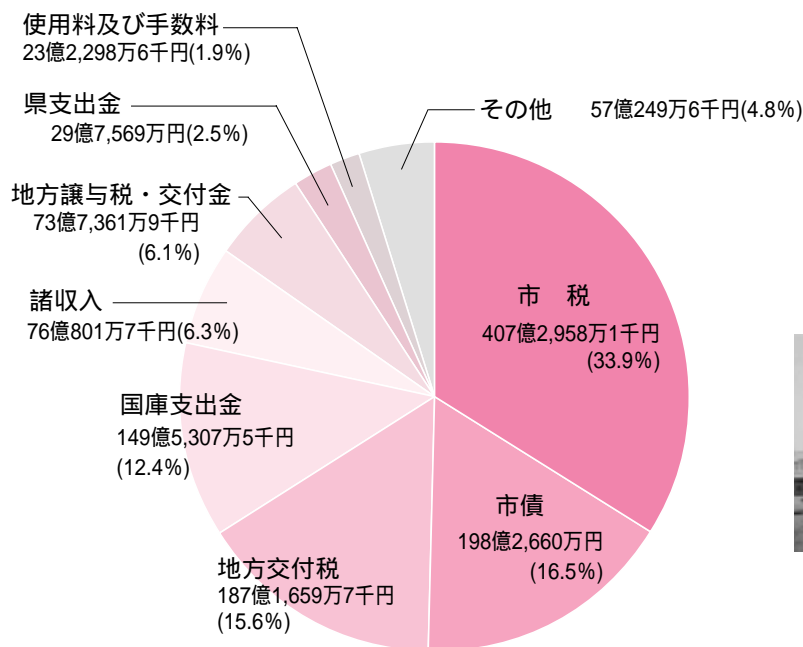
# 一般会計

## 財政の健全性を保ちました

一般会計は、福祉や都市基盤の整備、教育など市の一般的な事業に使われる経費のことです。

歳入から歳出を差し引いた残り14億3,652万4千円から平成17年度に繰り越した事業のための財源である7,910万5千円を除いた、13億5,741万9千円の黒字になりました。

## 歳入 1,202億866万1千円



みなさんが納めた税金、国からくるお金などが、市にどのくらい入ってきて、どのようなことに使われたのかをお知らせします。

なお、この決算は、平成16年4月1日から平成17年1月10日までの旧秋田市分と、合併した1月11日から3月31日までの新秋田市分を合算したものです。



6・7ページには貸借対照表

秋田市の財政状況が分かる

# 平成16年度決算報告

## 3つの数字が教えてくれる 秋田市の財政事情

秋田市の財政がどのような状況あるのか、財政の健全性を表す「財政指標」で見ましょう。



**0.63** 財政力指数

青森市 0.630	盛岡市 0.732	仙台市 0.815
山形市 0.738	福島市 0.738	

地方税などの財政収入額を、各種事業に必要な財政需要額で割った数値。数字が大きいほど財源に余裕があることとなります。この指数が「1」以上だと、「裕福」な自治体とみなされ、国から地方交付税が交付されなくなります。

東北6県の県庁所在地の中で秋田市は、残念ながら最下位です。市では、企業誘致により雇用増をはかるなど、税収の増につながる取り組みを続けていきます。

**16.8%** 公債費比率

青森市 21.1%	盛岡市 21.2%
仙台市 24.5%	山形市 19.7%
福島市 18.7%	

歳入の一般財源(使いみちが自由なお金)における公債費の割合。10%以下が望ましいとされています。

公債費比率は、全国的に上昇する傾向にあります。市では、市債発行の抑制、繰り上げ償還の実施などで改善に努めており、東北6県では、比較的良好な数字を保っています。

**86.0%** 経常収支比率

青森市 91.7%	盛岡市 90.7%
仙台市 93.3%	山形市 85.5%
福島市 87.9%	

市の財政構造の弾力性を測定する比率で、人件費や扶助費、公債費など経常的に支出する経費の割合を表しています。80%を超えると、投資的事業にあてる自由なお金がなくなり、財政が硬直化傾向にあると言われています。

今後、財政構造の硬直化を招かないよう対策を講じながら、健全財政の維持に努めます。

# 16年度一般会計のおもな使いみち

保戸野地区コミセン



**民生費**：身体・知的障害者や高齢者の施設、保育所などの整備、高齢者専用バス回数券の交付、福祉医療費の給付などを行いました。

**土木費**：道路や公園の整備、市営住宅の建設などに使いました。

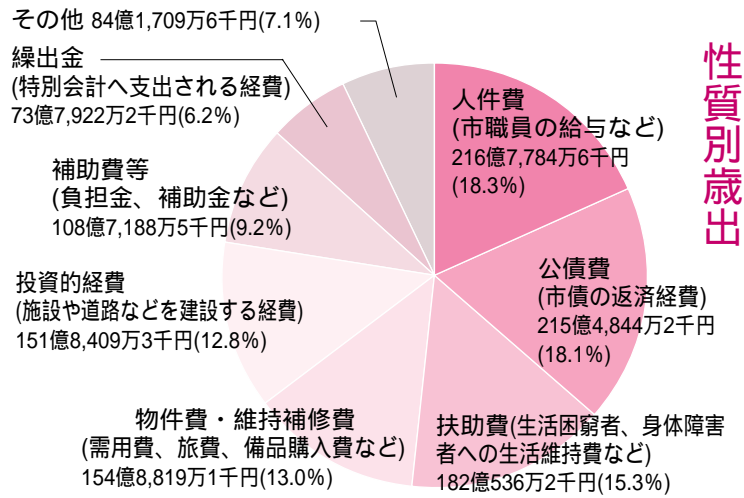
**衛生費**：基本健康診査や各種検診、ポリオや高齢者インフルエンザなどの予防接種、自然環境調査、家庭ごみの収集などを行いました。

**総務費**：電子入札システムの構築、コミュニティセンターの整備、町内会への助成などを行いました。

**教育費**：日新小学校と山王中学校の増改築、幼稚園への補助、公民館や図書館などでの各種講座などを行いました。

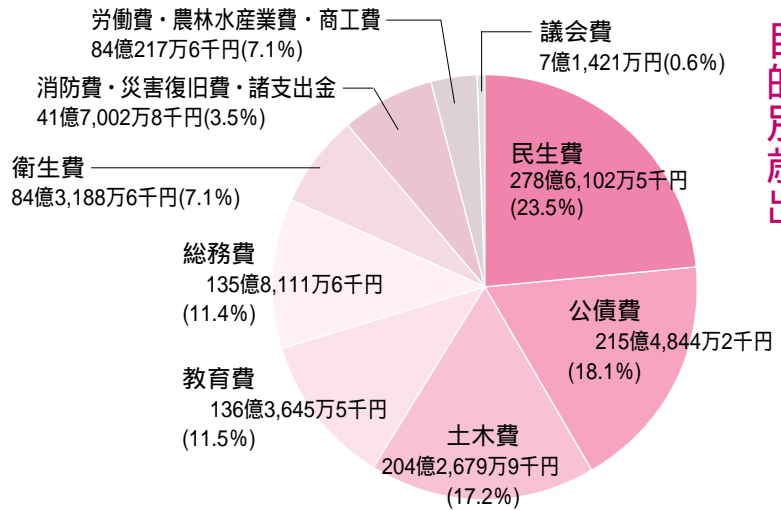
**労働費・農林水産業費・商工費**：中小企業への融資あつせん、求職中のかたへの技能講習、農道・林道整備、台風15号で被害を受けた農家への支援などを行いました。

**議会費**：議会の運営、選挙、統計調査などを行いました。



性質別歳出

## 歳出 1,187億7,213万7千円



目的別歳出

## 旧河辺町と旧雄和町の決算

旧河辺町・雄和町の平成16年度会計は、合併のため、平成17年1月10日をもって終了しており、一般会計と特別会計を合わせた歳入歳出決算額は下記のとおりです。

旧河辺町	歳入	76億4,567万3千円
	歳出	77億3,375万2千円
	差引	8,807万9千円
旧雄和町	歳入	69億1,060万1千円
	歳出	53億6,066万1千円
	差引	15億4,994万円



## 特別会計

特別会計は、介護保険や国民健康保険など特定の事業を行う場合、その収入を支出に充てるため、一般会計と区別している会計のことです。

会計別	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	差引額 (A) - (B)
土地区画整理会計	16億3,113万3千円	14億4,772万6千円	1億8,340万7千円
市有林会計	2億342万5千円	1億8,595万円	1,747万5千円
市営墓地会計	5,699万6千円	5,505万4千円	194万2千円
中央卸売市場会計	6億6,384万2千円	6億4,350万6千円	2,033万6千円
農業集落排水会計	11億2,864万3千円	11億1,141万7千円	1,722万6千円
大森山動物園会計	4億364万1千円	3億9,991万9千円	372万2千円
廃棄物発電会計	1億5,801万4千円	1億4,979万9千円	821万5千円
国民健康保険事業会計	229億5,706万7千円	229億2,592万9千円	3,113万8千円
老人保健医療事業会計	306億9,085万6千円	304億7,180万5千円	2億1,905万1千円
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	1億89万8千円	8,170万円	1,919万8千円
介護保険事業会計	154億134万2千円	149億7,989万円	4億2,145万2千円
合計	733億9,585万7千円	724億5,269万5千円	9億4,316万2千円



企業決算では、営業面から見た収支を「収益的収支」、設備など所有財産の面からみた収支を「資本的収支」としています。

公営企業の経営は、市民ニーズを満たしながら、収益的収支に大きな赤字が出ないような経営が望ましいといえます。

下表の市立病院・交通局のほか、上下水道局も公営企業会計を採用しており、決算は昨年(2019年度)の広報あきた9月1日号でお知らせしています。

医療に対する市民のニーズに応えるため、高度医療機器の整備と診療体制の充実に努めました。

収益的収支	収入	90億3,048万7千円
	支出	91億2,871万2千円
	差引	9,822万5千円
累積欠損金		28億8,565万6千円
資本的収支	収入	4億7,372万1千円
	支出	7億7,502万 円
	差引	3億129万9千円
	補てん財源	損益勘定留保資金など 3億129万9千円

資本的収支には消費税を含みます

民間事業者の一部路線を移管し、事業規模の縮小による効率化や職員の待遇向上に取り組みました。

収益的収支	収入	11億4,736万2千円
	支出	9億 301万2千円
	差引	2億4,435万 円
累積欠損金		18億5,977万5千円
資本的収支	収入	-
	支出	-
	差引	-
	補てん財源	-

## 市立病院

## 交通局

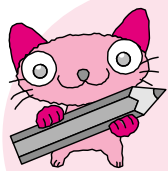
### 用語解説

**収益的収支**...その年度の企業の経営活動で発生した収益(収入)と、その収入を得るためにかかった費用(支出)のこと。収入はサービス提供の対価としての料金収入が主体で、支出はサービス提供に要する人件費、光熱水費、減価償却費などです。

**資本的収支**...支出には、住民に対するサービスの提供を維持したり、将来の利用増に対応し経営規模を拡大したりする建設改良費や、企業債(借入金)の元金償還金など、収入には、資産の取得などに要する資金である企業債(借入金)や国からの補助金などを計上します。

**損益勘定留保資金**...収益的収支の支出に計上される減価償却費など現金支出を伴わない費用は、企業内部に留保された形の資金となります。これを費用化して、資本的収支の資金不足に充当する補てん財源の一部にすることができます。

# 秋田市の財産と借金をお知らせします



四〜五ページと右の公営企業の決算報告は、一年間の会計年度に区切って、お金の出入りを記録したものです。その方式では、長期にわたって私たちの秋田市に蓄積された資産や負債(借金)がどのくらいあるのかは、わかりません。

そこで、秋田市が現在、道路や公園、教育施設、ごみ処理施設、市営住宅、保育所、消防施設などの財産をどのくらい持っている、同時に将来支払わなければならない負債がどのくらいあるかを示した資料が、左の貸借対照表(バランスシート)です。

ここには、市民のみなさんにサービスを提供するための秋田市の「資産」がどれくらいあり、またその資産についてこれまでに支払いの済んでいるお金「正味資産」と、これから支払わなければならないお金「負債」がどれくらいあるかが示されています。

なお、地方公共団体の活動目的は住民福祉の増進であることから、「利益」という概念を持っていません。したがって、この貸借対照表は「収益性」よりも「安全性」や世代間負担の「公平性」などを明らかにする視点に立って作成されています(総務省方式)。

## 貸借対照表ってなに？

例えば、一般家庭で、現金と銀行から借りたお金で車を買ったとします。その結果、**資産(車)**が残り、同時に銀行から借りた**負債(借金)**と、現金で支払った分の**正味資産**が発生します。

資産・負債・正味資産の三つの状態を表したのが貸借対照表です。左側(借方)と右側(貸方)は、必ず同じ金額になるので、バランスシートと呼ばれます。



# 秋田市の貸借対照表(バランスシート)

平成17年3月31日現在

**借方** ... 昭和44年以降  
市がつくったさまざまな資産

**資産合計** 4,076億4,517万3千円

**資産の部** ...将来の世に残る財産や権利など

**1 有形固定資産** ...長期間にわたって行政サービスを提供するために使用される土地、建物、機械などの資産

(1)総務費	115億2,855万6千円	◀ 市庁舎など
(2)民生費	92億6,338万 円	◀ 保育所、デイサービスセンターなど
(3)衛生費	318億7,608万6千円	◀ 保健所、総合環境センターなど
(4)労働費	35億 285万6千円	◀ 労働者福祉施設など
(5)農林水産業費	107億1,389万7千円	◀ 農林道など
(6)商工費	62億 202万3千円	◀ 観光施設など
(7)土木費	1,770億 471万6千円	◀ 道路、公園、市営住宅など
(8)消防費	52億2,131万 円	◀ 消防庁舎、特殊車両など
(9)教育費	1,107億9,070万3千円	◀ 小中学校、公民館など
(10)その他	5,138万9千円	

**有形固定資産 合計** 3,661億5,491万6千円  
(うち土地 933億9,149万3千円)

**2 投資等**

(1)投資及び出資金	116億8,617万9千円	...各種団体への出資金など
(2)貸付金	16億7,029万3千円	...返済期限が来ていない貸付金
(3)基金	146億5,280万5千円	
特定目的基金	111億4,880万5千円	...庁舎建設基金など、特定の目的のために資金を積み立てているもの
土地開発基金	35億円	
...円滑な事業執行のため、公用・公共用の土地を先行して取得するための基金		
定額運用基金	400万円	

**投資 合計** 280億927万7千円

**3 流動資産** ...1年以内に現金化することが可能な資産など

(1)現金・預金	93億1,056万8千円	
財政調整基金	38億7,469万7千円	
減債基金	37億8,451万3千円	...市債の返済のための積立金
歳計現金	16億5,135万8千円	
(2)未収金	41億7,041万2千円	
地方税	29億5,003万1千円	
その他	12億2,038万1千円	

**流動資産 合計** 134億8,098万円

**貸方** ... 昭和44年以降資産をつくるために市が調達した資金

**負債・正味資産合計** 4,076億4,517万3千円

**負債の部**

**合計** 1,672億9,351万6千円

...今後支払いや返済が必要となる、将来の世代が負担する借金

**1 固定負債**

(1)地方債	1,421億595万5千円	
...市の借金(市債)の残高のうち翌々年度以降に返済が必要となる元金の金額		
(2)債務負担行為	0円	
物件の購入等	0円	
債務保証又は損失補償	0円	
(3)退職給与引当金	129億4,839万1千円	...年度末に在職する全職員が普通退職したと想定した場合の退職金の推計値

**固定負債 合計** 1,550億5,434万6千円

**2 流動負債**

(1)翌年度償還予定額	122億3,917万円	...市債の借入残高のうち翌年度に返済が必要となる元金の金額
(2)翌年度繰上充用金	0円	

**流動負債 合計** 122億3,917万円

**正味資産の部**

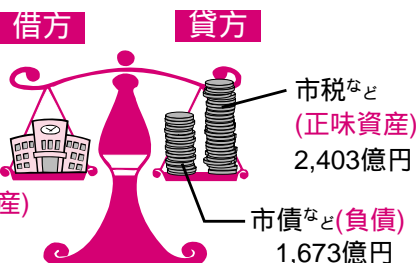
**合計** 2,403億5,165万7千円

...資産形成のため調達した資金で返済の必要がない金額

<b>1 国庫支出金</b>	710億4,893万2千円
<b>2 県支出金</b>	87億8,625万7千円
<b>3 一般財源等</b>	1,605億1,646万8千円

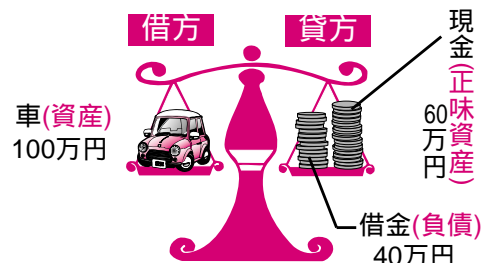


道路、学校、  
消防車など(資産)  
4,076億円



**資産** 4,076億円 = **負債** 1,673億円 + **正味資産** 2,403億円

秋田市の場合



**資産** 100万円 = **負債** 40万円 + **正味資産** 60万円

一般家庭の場合